

平成 28 年度

鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議

説 明 資 料

平成 28 年 11 月 22 日

鳥 取 県

1. 概要

1.1 対象範囲の設定

当会議では、東は岩美海岸陸上地区（岩美郡岩美町）から、西は長和瀬漁港（鳥取市長和瀬）までを対象とする。各海岸等における事業実施状況は下記に示すとおりである。

表 1.1.1 事業実施状況

区分	名称	管理者	種別	実施事業
海岸	1 岩美海岸（陸上地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 養浜 サンドリサイクル
	2 岩美海岸（浦富地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 リーフ整備 サンドリサイクル
	3 福部海岸	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 リーフ整備 サンドリサイクル
	4 鳥取海岸（鳥取西地区白兔）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量
	5 気高海岸（浜村地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 サンドリサイクル
	6 青谷海岸	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深浅測量 サンドリサイクル
河川	1 陸上川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	2 吉田川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	3 塩見川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	4 千代川	国土交通省	一級河川	
	5 溝川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	6 河内川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	7 浜村川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	8 永江川	鳥取県	二級河川	河口掘削
	9 勝部川	鳥取県	二級河川	河口掘削
港湾・漁港	1 東漁港	岩美町	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	2 田後港	鳥取県	地方港湾	航路・泊地浚渫
	3 鳥取港	鳥取県	重要港湾	航路・泊地浚渫
	4 網代漁港	鳥取県	第3種漁港	航路・泊地浚渫
	5 岩戸漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	6 酒津漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	7 船磯漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	8 夏泊漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	9 長和瀬漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫

1.2 評価分析箇所の設定

1.1 に示した箇所の内、背後地の重要度、および近年の侵食状況等を鑑み、当会議では下記に示す箇所について、重点的に評価・分析をおこなう。

海岸	近年の状況	本検討における分析項目	事業費* (百万円)
1. 岩美海岸（陸上地区）	冬季風浪等により浜崖が発生（H24、H26、H27年度） サンドリサイクル実施（H16年度～） 潜り突堤整備（H17年度） 海上養浜事業実施中（H27年度～）	汀線変化分析，土砂変化量分析，浜幅分析	70 (交付金・単独)
2. 岩美海岸（浦富地区）	近年、人工リーフ開口部付近における局所洗掘・浜崖が顕著化 サンドリサイクル実施（H13年度～） 人工リーフ整備中（H16年度～）	汀線変化分析，横断変化分析，土砂変化量分析，浜幅分析	141 (交付金・単独)
3. 千代川右岸漂砂系	人工リーフ未整備区間で局所的な海岸侵食が発生 サンドリサイクル事業（H17年度～） 人工リーフ整備中（H10年度～）	汀線変化分析，横断変化分析，土砂変化量分析，浜幅分析	213 (交付金・単独)
4. 千代川左岸漂砂系	伏野海岸で浜崖が発生，緊急的に土のうを設置（H25、H28年度）	汀線変化分析，横断変化分析，浜幅分析	5 (単独)
5. 気高海岸	浜村川右岸で浜崖が発生，緊急的に矢板を設置（H25年度） 浜村海岸で局所的な侵食が発生，緊急的に土のうを設置（H26年度） サンドリサイクル実施（H28年度）	汀線変化分析，浜幅分析	69 (単独)
6. 青谷海岸	冬季風浪により浜崖が顕著化（H26年度） サンドリサイクル実施（H28年度～）	汀線変化分析	43 (単独)

\* H27年度

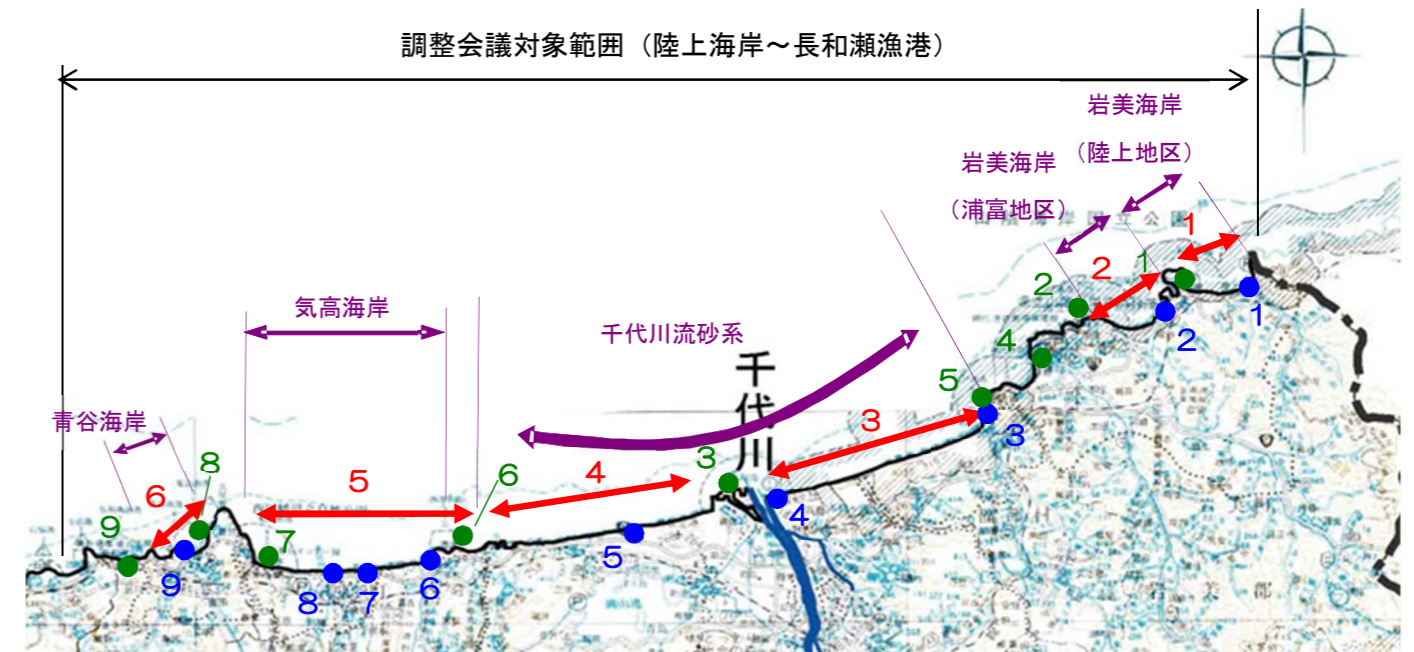


図 1.2.1 調整会議対象範囲図

### 1.3 波浪・漂砂移動について

鳥取沿岸の波高・波向については、以下の傾向がみられる。(2003～2016年波浪観測データ活用)

#### 【春季～夏季】

- ・ 北北西～北北東方向の波浪が卓越する。一部、西北西の波も発生する。
- ・ 夏季は1m以下の波高に落ち着く傾向にある。

#### 【秋季～冬季】

- ・ 北北西～北北東方向の波浪が卓越する。また、特に冬季には北北西～北方向の波浪が卓越する傾向にある。
- ・ 冬季には波高が1mを超える波が多くなり、時折、3mを超える波も発生する。

#### 【年間】

- ・ 概ね、北北西～北北東方向に波浪が集中する。
- ・ 1年を通し1m以下の波が大半を占めるが、冬季には時折、3mを超える波が発生する。

#### 【27年度の状況】

- ・ 春季～冬季について、例年と同様の傾向。
- ・ 例年に比べ、夏季に高波浪の頻度が高い傾向。

#### 【対象範囲の漂砂移動について】

- ・ 土砂供給源が千代川河口であるため、漂砂系の平均的な土砂動態は、千代川左岸では東側から西側へ、千代川右岸では西側から東側への移動となる。
- ・ 気高海岸、岩美海岸、青谷海岸の漂砂移動は、旧来は、西側から東側、東側から西側への漂砂移動がバランスしていたが、現在は港湾施設建設等により、偏った漂砂移動が生じている。

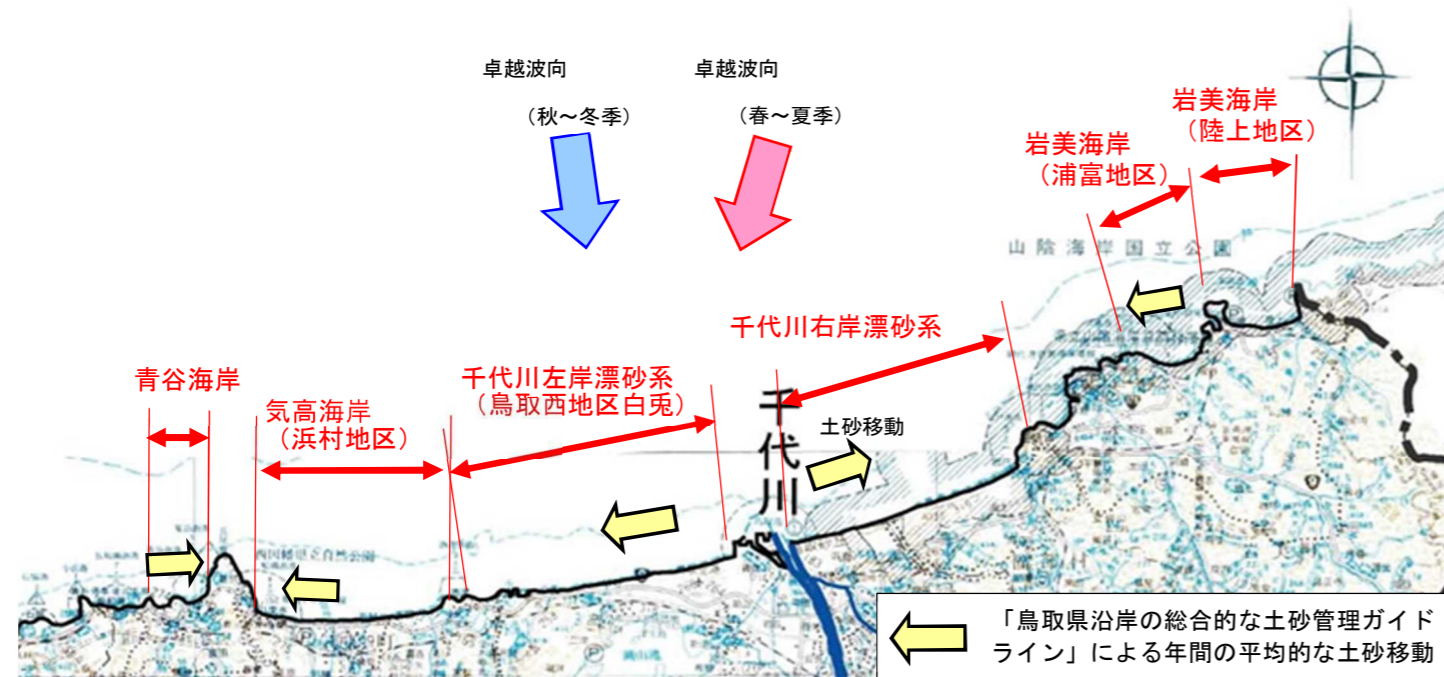


図 1.3.1 波浪と漂砂に関する模式図

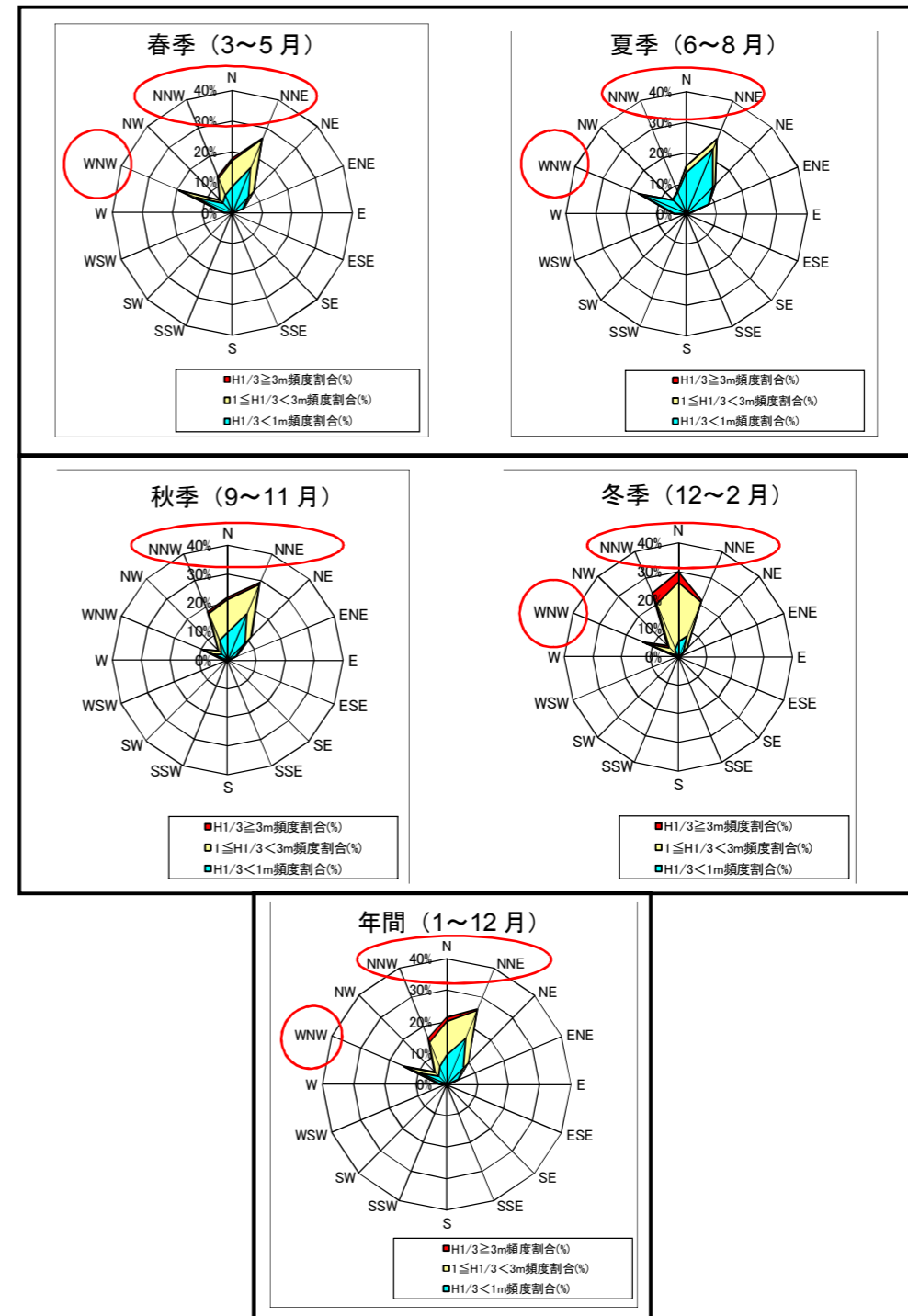


図 1.3.2 有義波高-波向頻度分布図 (2003年～2016年)  
 ナウファス (国土交通省港湾局全国港湾海洋波浪情報網) を活用  
 ※2016年8月1日時点までで、公表されているデータにて整理

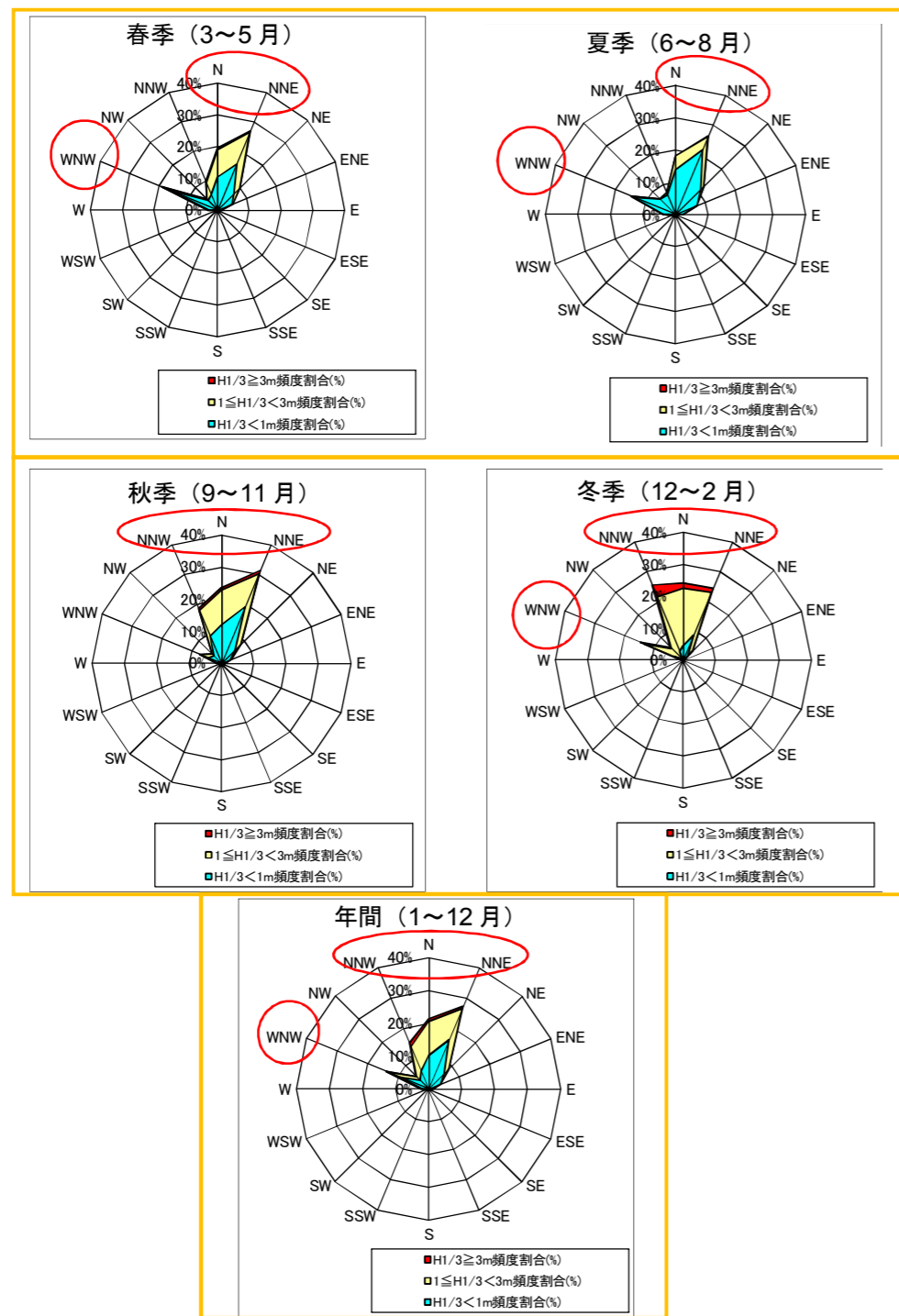


図 1.3.3 27 年度の有義波高-波向頻度分布図 (2015.4~2016.3)  
 ナウファス (国土交通省港湾局全国港湾海洋波浪情報網) を活用

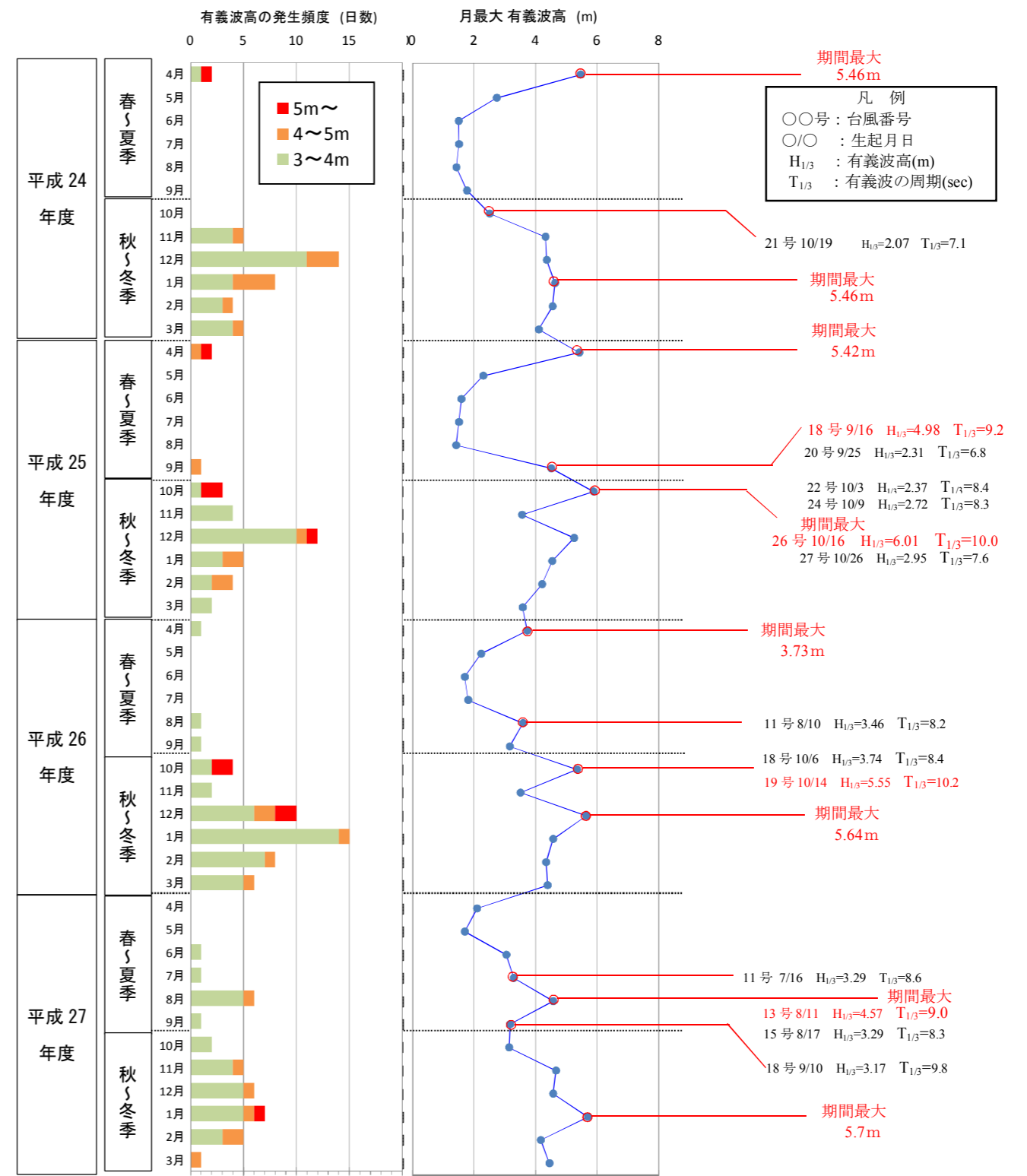


図 1.3.4 近年波高とりまとめ (2015.4~2016.3)  
 ナウファス (国土交通省港湾局全国港湾海洋波浪情報網) を活用